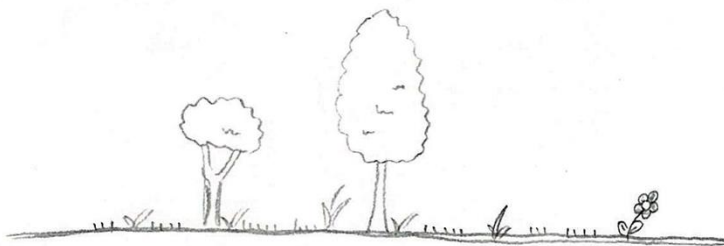
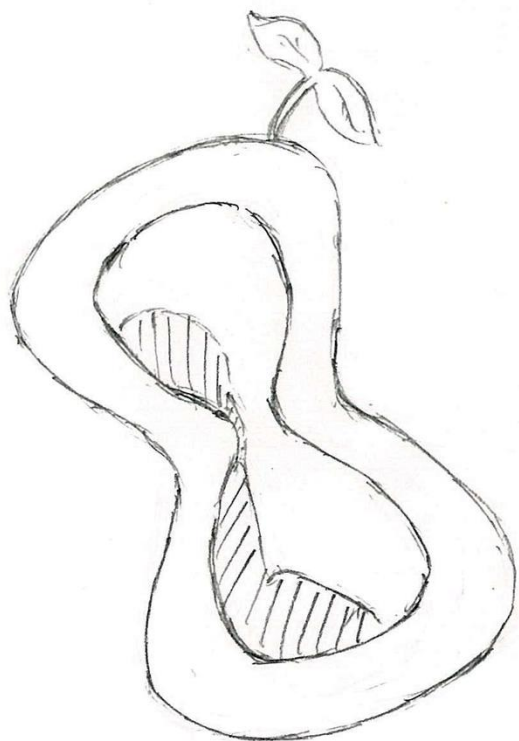


2024年 四旬節エコカレンダー

ご復活までの

砂時計



# 2024年 四旬節エコカレンダー 「ご復活までの砂時計」

※LDOOは『ラウダデー・デウム』の段落番号です。

日	月	火	水	木	金	土
			2月14日	2月15日	2月16日	2月17日
			わたしたちとともに歩んでくださるイエス様の優しさを思い起こし、私たちがともに暮らす家である地球のために何ができるのか考えてみよう。	人間関係の互いのケアは地球へのケアにつながります。家庭でも世界中でも弱い立場の人たちに気候変動の影響が及ぶことを頭に入れて行動しよう。	地球の気温が2℃上昇すればグリーンランドの氷冠と南極大陸の氷の大部分がとけて膨大な影響がすべての人に及びます。それを想像して行動しよう。	地球温暖化は人為的なことで生じています。地域共同体でこれを理解し、皆で回心した上で地球温暖化の課題に立ち向かおう。
			灰の水曜日 LD 1,2	LD 3,4	LD 5	LD 6,7
2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日
神は貧しい人を正義に導き、へりくだる人にその道を教えられる。	気候変動に「自分は関係ない」ではなく「自分も関係ある」ということを今日は強く意識しよう。	わたしたちが地球環境にクリーンなエネルギー源開発に関心を持つと同時に、政治家や企業家の人々にも意識をしてもらえよう努力しよう。	マウナロア観測所によれば1850年から今日まで地球気温は1.1℃上昇、実際に極地には大きな影響が出ています。気温上昇を減らすために、自分たちの行動を振り返ろう。	過去200年間、自然に対する野放図な人間の活動で温暖化が起きています。苦しんでいるホッキョクグマなど自然界のことを思って自分たちにできることをしよう。	海洋の温度上昇や酸性化、大陸の氷床の現象を元にもどすには何百年もかかります。自然環境や多くの生物が未来への旅路の仲間であられなくなないようにしよう。	広い展望を持って気候変動を考えると、大陸や海、河川など今のつながりを思い出すだけではなく、後世に残る社会に責任をもって過ごそう。
四旬節第1主日	LD 8,9	LD 10	LD 11,12	LD 13,14	LD 15,16	LD 17,18
2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	2月29日	3月1日	3月2日
わたしは神の前を歩む、神に生きる人々の中で。神が与えてくださったすべての恵みに、わたしはどのようにこたえようか。	人間のいのちは他の生き物のいのちや自然環境などすべてとつながっています。誰も独りでは救われません。	人間が発展させてきた科学技術を、技術至上主義から一歩引いて倫理的に正しく使えるように考え直してみよう。	リチウムなどの天然資源は無限に存在するわけではないので資源を好き勝手にはできません。存在するすべては、いとのおしむべき贈り物です。	技術主義パラダイム(科学技術至上的な考え方)によって見えなくなっている健全な考えを取り戻そう。	私たちは自然の一部です。私たちは内部から世界を見ます。今日一日、自然由来のもので生活をしてみよう。	健全なエコロジーを持っていて、人間と環境との相互作用と調和を大切にしてきた先住民族の文化を今日は調べてみよう。
四旬節第2主日	LD 19	LD 20,21	LD 22,23	LD 24	LD 25,26	LD 27,28
3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日
六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。	一部の人々が富を占有する社会の状況に疑問を持ち、弱者と環境についても留意した金銭の使い方をしよう。	貧しい人々は、「世界に欺かれている」と思わざるを得ない生活をしています。貧しい人々の苦しみをまなず知って世界を変えていこう。	誰もが取り残されない社会のために「真の意味での機会均等を求めているかなければ功績主義ははたらかない」ということを考えてみよう。	善は、愛、正義、連帯と同じく、一挙に達成されるものではありません。	世界(グローバル)の情勢に関心に向け、そして地域(ローカル)の特性を生かした行動をしよう。	人格としての人間を第一に据え、あらゆる状況を超えて人間の尊厳を擁護する。それが気候危機を考えることにもつながります。
四旬節第3主日	LD 29	LD 30,31	LD 32,33	LD 34,35,36	LD 37,38	LD 39,40

日	月	火	水	木	金	土
3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日
神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。	震災被災地のために祈ろう。そして地球を保護するための地球規模のルールがどうしたら確立できるか考えよう。	地球規模での一種のより大規模な「民主化」が、どうしても必要。みんなのために地球での民主化を目指そう!	日々の瞬間一つ一つに感謝をすることが大事。感謝の心で自然を見つめてみよう。	COP21のパリ協定を思い出し、気候変動の進行を食い止められるよう、日々の生活で行動しよう。例えば、使っていない部屋の電気は消そう。	世界情勢に関心を向けよう!汚染性の少ない代替エネルギーへの移行が進展するよう、具体的な目標を掲げ自分にできることから始めよう。	国際的な協議も日常生活も良心と責任感が欠如することによって苦しむ人がいることを忘れてはいけません。
四旬節第4主日	LD 41,42	LD 43	LD 44,45	LD 46,47	LD 48,49	LD 50,51,52
3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日
救いの喜びをわたしに返し、あなたのいぶきを送って、喜び仕える心を支えてください。	2023年のCOP28の報告や評価に目を通してみよう。気候変動の影響にさらされている人々のことに留めて今日はフードロスをしないようにしましょう!	私たちは地球のことを心配しているようで、実質的な変化を生み出すための対策をしていません。勇気を持って変化を生み出していこう。	地球環境問題は、その場しのぎの技術的修復ではなく、「すべてが繋がっていること」を意識して技術を使おう。木を見て森を見る!	エネルギー転換の枠組みをこれからの国際政治に働きかけ、地球が手遅れになる前に温暖化ガス排出を大幅に削減できるよう取り組もう。	真鍋淑郎博士のように多くの学者が気候変動と温室効果ガスの増加の相関関係を指示しています。温暖化で苦しんでいるホッキョクグマを救おう。	本物の信仰は、他者への関わりや環境との関わりを神様が照らし導いてくださること。今ある自然に感謝し地球を大切に生き方を変えていこう!
四旬節第5主日	LD 53,54	LD 55,56	LD 57	LD 58,59	LD 60	LD 61,62
3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日
主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え、疲れた人を励ますように言葉を呼び覚ましてくださる。	宇宙はつながっている。気候変動・気候危機から目を背けず、絶えず学び、そして祈ろう。	世界は神をたたえて、無限の愛を歌っている。そのメロディーに耳を傾け、今いる環境に改めて感謝しよう。	心を落ち着かせて、もっとも小さきもの、あるいは見えにくくされていることなど、宇宙・世界のすみずみまで思い巡らせてみよう。	私たち人間が自律的で、全能で、限界なき存在であると思わずに、神様に委ねる姿勢や謙虚さを大切にできるよう考えを新たにしよう。	一つ一つのささやかな行動によって地球気温の上昇を0.1℃でも抑えることができれば、多くの人の苦しみをいくばくかは軽減することになるでしょう。	「神をたたえよ」-『ラウダーテ・デウム』の意味です。神に変わる存在に人間はなれません。謙虚に今日も過ごそう。
四旬節受難の主日	LD 63,64	LD 65	LD 66,67	LD 68,69	LD 70,71	LD 72,73
3月31日	<div data-bbox="1848 1029 1960 1204" data-label="Image"> </div>					
きょうこそ神が造られた日、喜び歌え、この日をともに。						
復活の主日						
2023年度 不二聖心女子学院高等学校1年生が教皇フランシスコの『使徒的勧告 ラウダーテ・デウム』の読書会を経て作成しました。						



## わたしたちの地球のための祈り

全能の神よ、

あなたは、宇宙全体の中に、

そしてあなたの被造物のうちでもっとも小さいものの中におられます。

あなたは、存在するすべてのものを

ご自分の優しきで包んでくださいます。

いのちと美とを守れるよう

あなたの愛の力をわたしたちに注いでください。

だれも傷つけることなく、兄弟姉妹として生きるために、

わたしたちを平和で満たしてください。

おお、貧しい人々の神よ、

あなたの目にはかけがえのない

この地球上で見捨てられ、忘れ去られた人々を救い出すため、

わたしたちを助けてください。

世界を貪るつねのではなく、守るために

汚染や破壊ではなく、美の種を蒔まくために

わたしたちのいのちをいやしてください。

貧しい人々と地球とを犠牲にし利益だけを求める人々の

心に触れてください。

それぞれのものの価値を見いだすこと、

驚きの心で観想すること、

あなたの無限の光に向かう旅路にあつて

すべての被造物と深く結ばれていると認めることを、

わたしたちに教えてください。

日々ともにいてくださることを、あなたに感謝します。

正義と愛と平和のために力を尽くすわたしたちを、

どうか、勇気づけてください。

『回勅ラウダート・シ ーとともに暮らす家を大切に』より

(教皇フランシスコ 二〇一五年

邦訳カトリック中央協議会 二〇一六年発行)